

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北湊学園

JCYO-HOKUZEI compulsory education school

第11号 令和6年3月1日発行

校長 尾畠 義弘

令和5年度重点目標 「自分の考えをつくり伝える子どもの育成」

ついに、3月になりました。令和5年度もいよいよ終わります。本年度は「自分の考えをつくり伝える子どもの育成」を重点目標に設定して、その達成のために様々な活動を行ってきました。一年間を振り返っての学校評価はおよそ次の表の通りです。

1 重点目標(一年間で達成を目指す目標)に対する評価について(職員、子どもの回答から)

評価項目	具体	前期	後期
考えをつくる	授業で自分の考えを書く、振り返りを行う 等	3.2	3.3
考えを伝える	ICT 機器を活用し伝える、考えを広げたり深めたりする 等	2.8	3.1

2 学校の教育目標に対する評価について(職員、子ども、保護者の回答を総合的に)

確かな学力	基礎学力の定着に関する項目	3.2	3.3
秩序ある学校	生徒指導の充実に関する項目	3.2	3.6
家庭・地域との連携	小中一貫教育の推進に関する項目	3.1	3.2

※保護者アンケートにつきましては、必要に応じ個別に対応させていただきました。

1 重点目標について

【成果】考えをつくる、伝えるともに伸びが見られた。

【課題】伝えるに関しては、「一方的に伝えてそれで終わる」というケースも見られ、考えが広がったり深まったりはできていないこともまだまだある。

2 学校の教育目標について

【成果】重点目標と同様にどの項目でも伸びが見られた。

【課題】一人ひとりの学力を集団の中でいかに伸ばしていくか。(学校と家庭等の連携を含め)



さて、9年生は8日(金)に卒業式を迎えます。上陽北湊学園で過ごす日は残りわずかとなりました。高校入試も大詰めで5、6日の公立一般入試を残すのみとなりました。入試で全力を出し切って全員が笑顔で本校を巣立ってくれることを願っています。また、他の学年の児童生徒のみなさんはそれぞれ次の学年に進級します。一つ先輩になるという意識を春休み中に高め、新しい気持ちで4月を迎えましょう。

保護者の皆様、一年間本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。職員一同、子どもたちと共に成長をしていく「伴走者」として一生懸命に取り組んで参りました。しかし、まだまだ至らないところもあるかと思えます。学校・保護者・地域・関係機関が連携して子どもたちの成長を見守り・支えていきたいと考えております。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

縦のつながりを生かして ～1・2・6年生お楽しみ会、なかよし集会～

年度末になり、各科各学年等でさまざまな行事が行われています。2月1日(木)には、6年生が中心となり、1・2年生とお楽しみ会を行いました。また、初等科では、4年生が中心となって2月16日(金)になかよし集会を行いました。どちらの取組も上級生としての自覚を高めるとともにリーダーシップを発揮し、下級生に関わることで企画力やコミュニケーション能力、思いやりの心等さまざまな力や態度を高めることができます。

昼休みには運動場で多くの子どもたちが遊んでいます。その中では、様々な学年の子どもたちが一緒に遊んでいる姿も見られます。前期課程の子どもと後期課程の子どもと一緒に遊ぶことができる、上陽北浜学園の大きな魅力の一つです。



1・2・6年生お楽しみ会の様子



なかよし集会でのゲームの様子



昼休みの運動場の様子

ハワイとの新たな交流 ～3年生とカミロイキ小学校との交流～

2月22日(木)、3年生が外国語活動の学習の一環としてハワイ州にあるカミロイキ小学校の日本語を学習している子どもたちと交流を行いました。

3年生からは日本の昔話である「桃太郎」をうちわ型の紙芝居を使って英語で披露し、カミロイキ小学校の子どもたちは写真を使用してハワイのことを日本語で紹介してくれました。その後はお互いに質問をし合って、日本の文化とハワイの文化の違いなどを知ることができました。



カミロイキ小学校の発表を聞く様子

感謝の気持ちを込めて ～9年生茶道の時間～

2月9日(金)、9年生はお茶を点てて、保護者に振る舞いました。一人ひとりがこれまで茶道の時間に身に付けた作法を発揮し、感謝の気持ちを込めて行いました。

9年生は礼節の時間に学んだことを忘れずに、上陽北浜学園で学んだことを誇りに持ち、羽ばたいていくことを祈念しています。



お茶を振る舞う様子



お茶を点てる様子